

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 1 日

Table with 5 main columns: 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 事業期間. Includes details for '石材業振興支援事業' and '商工業の振興'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要, ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Row 1: 地場産業である石材業の振興を図るため、真壁石材協同組合、羽黒石材商工業協同組合の運営に要する費用の一部を補助する。 / 運営費補助金の交付

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段, ④活動指標, 単位, 01年度(実績), 02年度(実績), 03年度(計画), 04年度(目標), 05年度(目標). Rows include '運営費補助金の交付' and '組合員数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 投入内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源), 01年度(実績), 02年度(実績), 03年度(計画), 期間限定総投入量. Total 1,300 for 01 and 02.

Table with 4 columns: 事業費の内訳, 02年度事業費 実績 (千円), 03年度事業費 予算 (千円), 合計. Total 1,300 for both years.

事務事業名	石材業振興支援事業	事務事業No.	40203000539	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和2年に小舗石の共同販売のために、真壁、羽黒、稲田などの業者を含めて、20余名で常陸舗石商業組合を設立された。その後、羽黒石材商工業協同組合と真壁石材協同組合に別れ、現在に至っている。</li> <li>平成7年には真壁石燈籠が国の伝統的工芸品に指定されたが、両組合とも石材業界の不況にともない組合員数が減少している。</li> </ul>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内には石材業関係者が多く、今後も石材組合の運営費に対して助成を継続してほしいとの要望がある。</li> </ul>					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 両組合への支援は石材業の振興につながり、市の政策体系に結びついている。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地場産業である石材業の振興を図ることは、市の責務である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 後継者不足の問題を抱えており、組合員数が減少傾向にある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特に無し
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 両組合とも、運営に要する補助金を削減する余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地場産業振興のための補助を行うことは妥当である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	消費者のライフスタイル変化による需要の減少や、後継者不足の問題を抱えているが、今後も両組合の事業を支援することで、組合員数の維持と石材業の振興を図りたい。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加		○								
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
	○																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ⑦																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>